

卒業式を挙行いたしました。

文責 学校長



～3年生が母校を巣立っていきました。～

3月1日(火)に第13回卒業証書授与式を行いました。生憎の雨模様でしたが、最後のホームルームが終わる頃には雨も上がり、親子で記念撮影をする姿も多く見られました。午後からは部活動ごとの送別セレモニーも行われました。

1 武雄市歴史シンポジウムが開催されました。

2月24日(木)に武雄市文化会館において、「武雄市歴史シンポジウム～実はすごい武雄の歴史～」が開催され、本校の2年生が幕末・維新期に活躍した武雄市ゆかりの人物等について調べ、4グループが研究発表を行いました。その後、国立科学博物館の鈴木一義氏の「ローカルからグローバル、その先へ～日本の歴史・風土・文化に自信を持って」と題しての基調講演があり、最後に鈴木氏、小松武雄市長、九大研究員の山口祐香さん(本校OB)によるパネルディスカッションが行われました。故郷武雄の歴史を再発見・再認識する時間となりました。



2 オランダの高校生とのオンライン交流会を実施しました。

2月24日(木)・25日(金)の放課後に、オランダのライナトールカレッジの生徒とのオンライン交流会を実施しました。1日目が「Today」2日目が「Tomorrow」をテーマにグループワークを行い現代や将来の問題点を話題として意見交換をし、交流を深めました。



3 今週の名言・・・アントニオ・ガウディの言葉です。

建築とは光を操ること。彫刻とは光と遊ぶことだ。全ては、自然が書いた偉大な書物を学ぶことから生まれる、人間が造る物は、既にその偉大な書物の中に書かれている。



【解説】スペインのバルセロナにあるサグラダ・ファミリア(聖家族教会)の設計者アントニオ・ガウディの言葉です。着工から100年以上が経過しても今なお建設途中という、壮大な建築を考えた建築家の言葉だけに深い言葉です。ガウディの代表的な建築物に共通するのは、自然や生物(動植物)をモチーフにしつつ、自然光をふんだんに取り込んでいるところに特徴があります。この言葉にあるように自然を偉大な教科書として捉え、美を追究し続けた偉大な建築家です。当初は300年以上かかると考えられていましたが、技術の進歩で2026年に完成予定とされています。

【アントニ・ガウディについて】スペイン、カタルーニャ出身の建築家。19世紀から20世紀にかけてバルセロナを中心に活動した。サグラダ・ファミリア(聖家族教会)・グエル公園・カサ・ミラをはじめとしたその作品はアントニオ・ガウディの作品群として1984年ユネスコの世界遺産に登録されている。(参考:「Wikipedia」より)

4 今週の話事成語・・・「功成り名遂げて身退くは天の道なり」【問題】英語で表現すると?

人生で成功したら、すみやかに身を引くのが賢い生き方である、ということ。

【由来】功名を立てて名誉を得たら、与えられた地位にとどまっていなくて引退するのが自然の道であるという意味。それはまた、功績を汚さないための賢明な身の処し方でもあります。「老子一九」の一節。「金銀や宝石を家にいっぱいため込んで、守り抜くことはできない。地位と財産を得て思い上がると、災難を引き起こす」と述べたあと、「功成り名遂げて身退くは、天の道なり(功績を挙げて名声を得たら、その地位を退くのが、自然の理にかなったやり方である)」と続けています。(出典:「老子」より)



5 入試によく出る漢字(その22)・・・センターテスト(1997年度)の漢字に挑戦!

- (1) 誰に対してもフ遍的に通用する点で、・・・〔①事実とよくフ合している。②それはフ朽の名作である。③パソコンが職場にフ及する。④税金のフ担を軽くする。⑤事件にフ随して問題が起こる。〕
- (2) 幼チさを笑いものにすることができる。〔①生涯のチ己に出会う。②世界大会を誘チする。③会議によくチ刻する。④川にチ魚を放流する。⑤厚顔無チと責められた。〕
- (3) 自分のヒ小さ、というよりは・・・〔①ヒ境への旅を企画する。②罪状をヒ認する。③ヒ凡な才能の持ち主である。④ヒ近な例を挙げて説明する。⑤安全な場所へヒ難する。〕
- (4) 近代人はユングも指テキするように、・・・〔①あの二人は好テキ手だ。②汚職をテキ発する。③快テキな生活が約束される。④内容を端テキに説明する。⑤窓ガラスに水テキがつく。〕
- (5) 簡単にハイ斥するのではなく、・・・〔①三回戦でハイ退する。②核兵器のハイ絶を訴える。③ハイ気ガスが空気を汚す。④それはハイ信行為である。⑤細かなハイ慮に欠ける。〕

6 今週の一冊・・・立花隆の『東大生と語りつくした6時間 立花隆の最終講義』(文春新書)です。

死、マラルメ、自身の二十歳の頃、物理、宗教、スーパーコンピュータ、ヴィーコ、デカルト、世界史、地理、社会と目まぐるしく変わっていく講義の内容は全て一本の糸でつながっていた。若者たちを刺激する、知の旅の入り口へようこそ。

(参考:本書表紙裏解説より)

【解説】45号の「知の旅は終わらない」に続いて立花隆氏の本を紹介しします。2021年4月に亡くなった「知の巨人」立花隆さんは90年代後半から、母校・東京大学のゼミ(立花ゼミ)で講義をおこなっていました。その最終回となったのが、2010年に20歳前後の若者たちに向けて語ったものです。古稀を迎えた立花さんの話は「自身の20歳の頃」「宗教」「スーパーコンピュータ」「デカルト」「世界史」「世界情勢」など多岐にわたり、午後3時にスタートした講義は午後9時すぎまで続けました。本書は、この「立花流白熱教室」をまとめたものです。「いかに死と向き合うか」など中年・壮年世代にとっても「人生の指針」となる一冊です。

【作者・立花隆について】前号参照。

7 世界遺産を巡る・・・第47回はハワイ火山国立公園 (登録:年)

【解説】ハワイ火山国立公園はアメリカ合衆国ハワイ州ハワイ島の南に広がる火山地帯を中心とした国立公園で、133,200 haの保護区内にマウナロアとキラウエアの二つの巨大な活火山を有する。キラウエア火山から流れ出た熔岩は18.8億 m³に達しており、周辺施設にもその影響が及んでいる。1987年にプナへ続く海岸沿いの道路(137号線)が、1988年に南海岸にあったワハラ・ビジターセンターが、1990年にはカラパナの町が、1994年にはカモアモア・ビーチとワハラ・ヘアウがそれぞれ熔岩によって飲み込まれた。キラウエア火山はハワイ先住民の聖地でもあり、**ハワイで1番の人気観光スポット**といっても過言ではありません。キラウエア火山はなんと20年以上にわたって噴火をし続けています。また、世界で最も活発な火山であるにもかかわらず、最も安全に観察できる火山でもあります。ハワイ火山国立公園の中心となるのがキラウエア・カルデラと呼ばれる火口です。直径が4.5キロメートルほどあり、その周囲をクレーター・リム・ドライブが走っていて、車で見て回ることができます。が、現在も活動を続けているため、噴火の状態によっては、その道路も閉鎖となることがあります。現在キラウエア・カルデラの内側で最も活動しているのがハレマウマウ・クレーターと呼ばれている火口です。1820年頃は、ハレマウマウは煮えたぎる溶岩湖だったと言われていました。それから100年後、ハレマウマウの底が急激に沈下し地下水と反応して爆発的な噴火が起きました。近年では1982年の噴火で100万立方メートル近い溶岩が吐き出され、2008年にも噴火が起こり、クレーター・リム・ドライブも一部がそれ以降閉鎖され続けています。



8 街角グルメを訪ねて・・・第47回は嬉野町の「うれし庵」です。

前号に引き続き、スイーツのお店を紹介しします。嬉野市の嬉野商店街にある山下呉服店の一角でスイーツを製造販売しており、人気商品「もちもち」をはじめ、季節限定の和ちよこ等のお土産やプレゼント商品が売られています。店内にはカフェスペースも設けてあり、スイーツとドリンクが楽しめるゆったりとした空間づくりをコンセプトにされているそうです。この日はお目当ての「お濃茶モンブラン」と「茶畑」と「きなこ」と「抹茶グラニテ」を購入。「お濃茶モンブラン」は、うれしの抹茶100%のモンブランです。外側のクリームは抹茶をふんだんに使って栗のクリームをベースにお濃茶を食べているような食感です。「茶畑」は、マスカルポーネクリームと緑茶で茶畑をイメージしたお茶のティラミスです。スポンジは、ほうじ茶で茶畑の大地をイメージし、茶どころ嬉野の茶畑をイメージしたケーキです。緑茶は「おくゆたか」を使用。「おくゆたか」は葉が柔らかく甘みがあり茶摘み時期が短く希少な茶葉です。「きなこ」は、香ばしいきなこの味を活かした和風ティラミスです。「グラニテ」とは、フランス料理のコースにおいて供されるシャーベット状の氷菓のこと。いわゆるシューベットです。「抹茶グラニテ」は、抹茶の味がストレートに堪能できます。「うれし庵」は、公衆浴場シーボルトの湯から徒歩5分のところにありますので、湯上りに立ち寄るのもおすすめです。駐車場はすぐ隣に3台分あります。日曜日が定休日なのでご注意ください。



9 保護者の皆様へ・・・練習試合(県内)が可能になりましたが、感染防止策にご協力を。

3月6日(日)で「まん延防止等重点措置」が解除されましたが、感染状況は続いていますので十分ご注意ください。

【正解】◇ To succeed, to win fame, and then to retire from life, is the way of Heaven.

◇ To render service, to win fame, and then to retire from life, is the way of Heaven.

◇ To render service, to win renown, and then to retire from life, is the way of Heaven.

【正解】(1) 普[符・不・普・負・付] (2) 稚[知・致・遅・稚・恥] (3) 卑[秘・否・非・卑・避]

(4) 滴[敵・滴・適・的・滴] (5) 排[敗・廢・排・背・配]